

令和元年度 知床国立公園利用のあり方に関する行政間会議 概要

【会議趣旨】

平成29～30年度「知床国立公園利用のあり方に関する懇談会」で聴取した意見に対して、行政としてどのように対応していくかの方針を議論することを目的として開催。

【第1回 2019年10月27日】

1. 知床国立公園の利用のあり方に関する懇談会について
 - ・「知床国立公園利用のあり方に関する懇談会」の開催背景・主旨、懇談会で議論された「将来のゾーニングイメージ（案）」の内容等を再確認。
2. 知床国立公園の管理方針について
 - ・知床世界自然遺産地域管理計画、知床国立公園管理計画、知床森林生態系保護地域管理計画等による現在の地区ごとの管理方針等を再確認。
 - ・知床エコツーリズム戦略、知床エコツーリズム推進実施計画、先端部地区利用の心得等による国立公園における現在の適正利用に関する計画や基本的考え方を再確認。
 - ・懇談会で聴取した意見に対して、現行の制度や管理方針との整合性を確認。

【第2回 2019年12月10日】

1. 知床国立公園利用のあり方のゾーニングイメージ（案）について
 - ・上記「将来のゾーニングイメージ（案）」について、地域として合意された範囲について再確認。
2. 利用の規制に関する制度について
 - ・懇談会で合意された地域要望の一つである「利用者への強制力のある規制」に関連する制度（環境省所管の法令の他、地方自治法や地域の協議会等による取り決め事例等）について、環境省から網羅的に説明。
 - ・特に利用調整地区制度の考え方について、環境省から実情に即して説明。

【現状】

「将来のゾーニングイメージ（案）」の理念や方向性（別紙）は斜里町・羅臼町ともに地域関係者を含め合意した内容であることを確認。これをたたき台として、関係行政機関等で具体的な検討（各種計画や規制等の内容更新及び再編等）を丁寧かつ柔軟に進めることとされた。

【今後の予定】

- ・2020年3月19日に第3回を開催予定。検討内容の優先順位、具体的なスケジュール等について議論。